

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

京都文教大学 実施報告書



実施主体 プロジェクト科目ⅠB「多様な私たちがともに暮らす地域」クラス
実施内容 オレンジリボン運動

①事前に取り組んだ内容

児童虐待について学生たち自身で調べて学び、その内容を班ごとにまとめてリーフレットを作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

学生たちが作成したリーフレットを、オレンジリボン運動啓発用クリアファイルに挟んで学内に配架し、オレンジリボンとともに自由に取れるようにした。また、同時に大きな幟と小さな幟を掲示して、学内を通行する人の目に留まるようにした。ポスターも図書館の壁に貼らせて頂いた。いくつかのゼミでもチラシとリーフレットを配布した。

活動終了後は、学んだことと活動した内容を5分程度の動画にまとめて、学内のすべての学生および教職員が観られるように共有した。

③オレンジリボン運動を終えて…

配架したクリアファイルはほとんど取ってもらうことができ、学生たちは手ごたえを感じていた。また、取り組んだ学生たちの児童虐待に対する意識が高まり、「189」が記憶に残ることで、今後、社会人となり、自分の家庭や隣近所で虐待に気付いた時に役立つものと思われる。

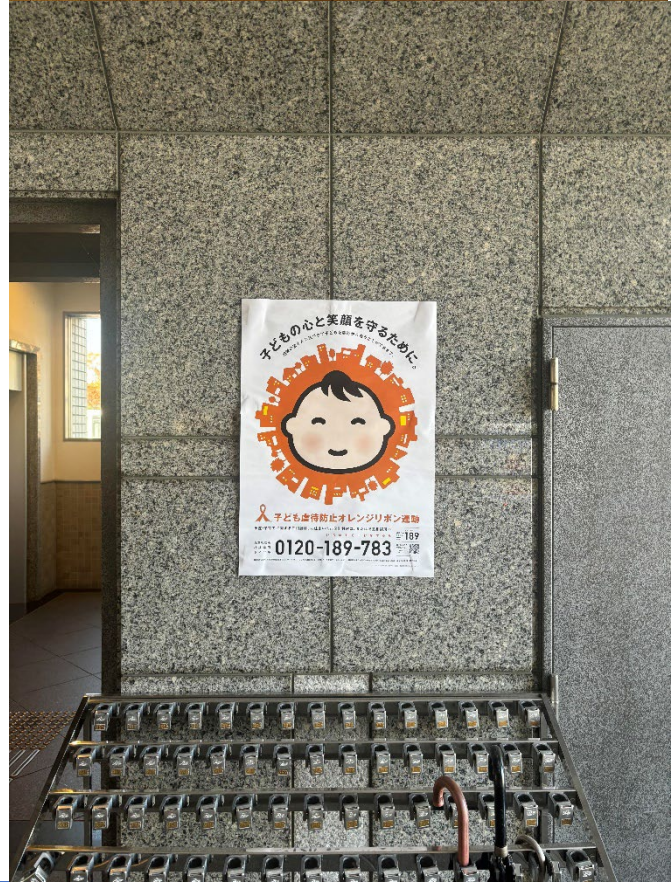
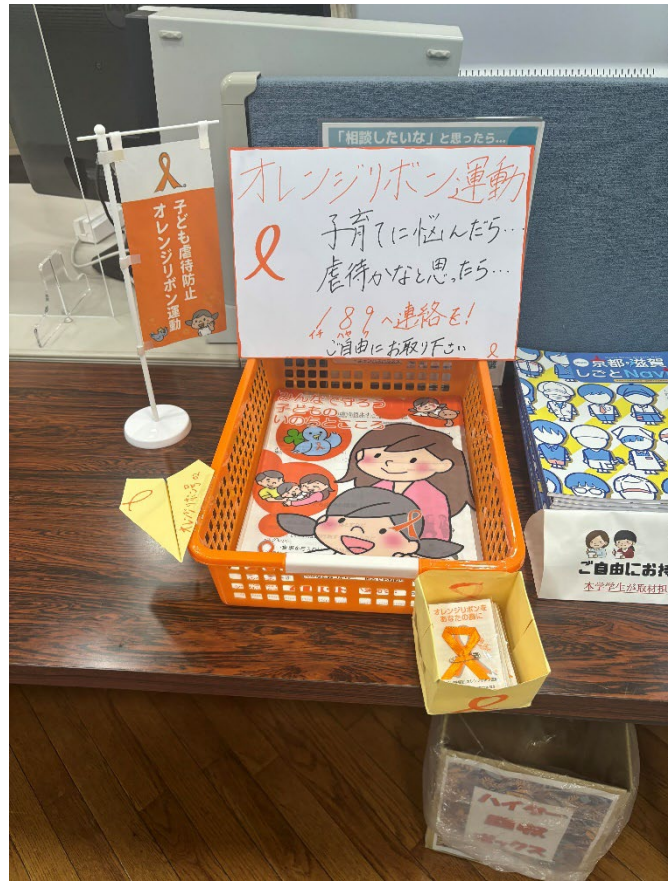
また、成果発表動画を観てくださった100名以上の方々の感想からは、児童虐待についての認識を新たにするコメントを頂いており、たとえ学内だけであっても、普及啓発を行うことの意味を実感することができた。

次年度以降もぜひ取り組みたいと考えている。些細なことでも自分に

写真



できることをすることで、何かの力になるものと考えている。



【学校名】 <https://www.kbu.ac.jp/kbu/>